

会議AI・議事録基盤の選び方

会議経路と再利用方法から最適な基盤を選ぶ

作成日 2026.07.13

高橋 俊 CTO / 技術責任者



結論から

- 社内会議が一つの基盤で完結するなら、**その基盤の標準AI**
- 顧客主催・対面・fileが混在するなら、**Fireflies**
- 日本語・二言語・対面を重視するなら、**Notta**
- 会議横断検索・引用・MCPを重視するなら、**Fathom**
- 営業・CS・VoC分析は**tl;dv**、英語圏・リアルタイム支援は**Otter**

基盤混在で独立系を1つ選ぶならFireflies

選び方の結論

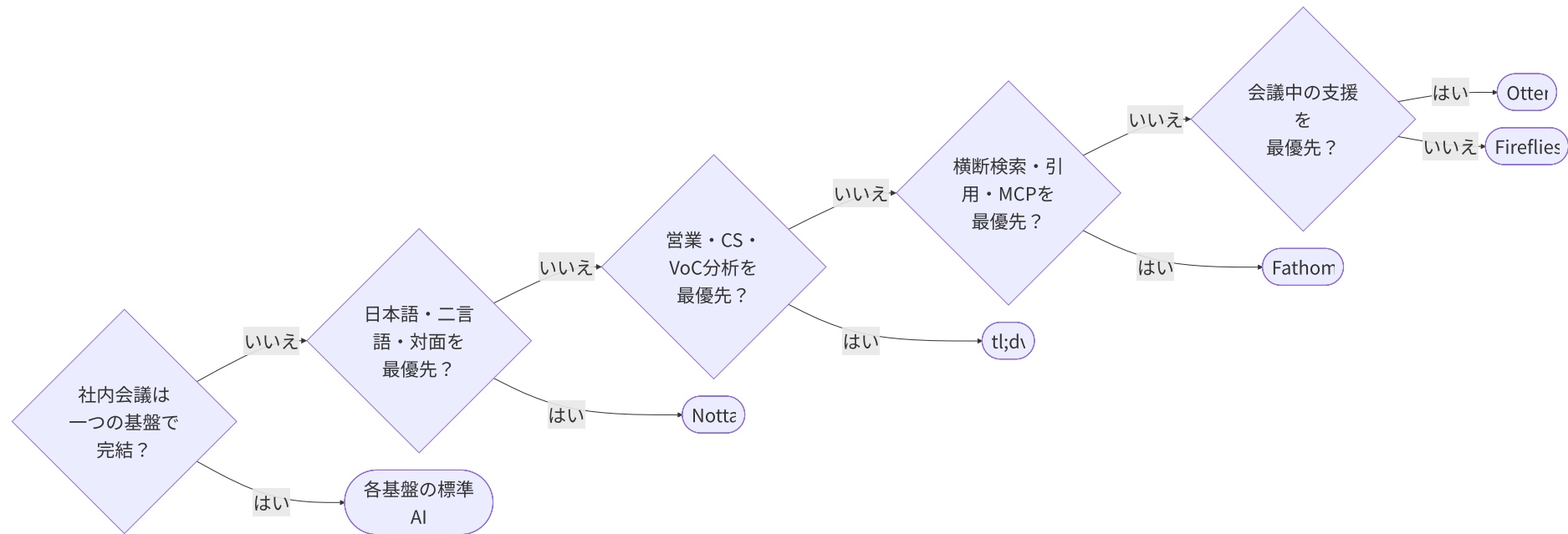
1. 選び方の結論

2. 比較の根拠

3. 導入前の確認

Yes / Noで選ぶ

自社の会議環境を次のフローに当てはめて、候補を絞り込みます。



製品順位ではなく 会議経路と再利用方法 で選ぶ

一つの基盤なら標準AI

社内会議が一つの基盤で完結するなら、追加SaaSより先に標準AIを検討します。

会議基盤	第一候補	主な保存・共有先
Microsoft Teams	Copilot / Intelligent Recap	Teams / OneDrive / SharePoint
Google Meet	Geminiの会議メモ	Google Docs / Drive / Calendar
Zoom	Zoom AI Companion	Zoomの要約・transcript
Slack Huddle	Slack AI Huddle Notes	Huddle thread / Canvas

- 既存のID、権限、保存先、保持方針に合わせやすい
- 追加SaaSを増やさず、利用者教育も少なくできる

迷ったらFireflies

会議経路が混在する環境で、独立系を1つだけ選ぶ場合の第一候補です。

-  **主要Web会議へBot参加**
Zoom / Meet / Teams / Webex
-  **Botなしで取得**
desktop system audio
-  **対面・既存fileを集約**
mobile録音、audio / video upload
-  **分析・再利用**
AskFred、AI Skills、Slack、CRM、API、MCP

CAUTION

日本語と英語の二言語会議が最優先ならNotta、会議横断の検索と引用体験が最優先ならFathomも比較する。

Fathomを選ぶ場合

会議の記録そのものより、記録した資産の検索・再利用を重視する場合の候補です。

- 🔍 **会議横断で質問・検索したい**
account全体を検索し、該当発言へ戻れる
- 📁 **顧客・案件単位で整理したい**
customer view / deal view
- 🖱️ **ChatGPT / Claudeから使いたい**
API、公式MCPに対応
- 📝 **会議中も記録を補助したい**
live summary、scratchpad、clip

CAUTION

Botなし録音とSlack Huddleは段階展開。iOS対面録音にはベータ・OS差があるため、導入環境で利用可否を確認する。

Nottaを選ぶ場合

日本語の精度と、二言語が混ざる会議への対応を最優先する場合の候補です。

-  **日本語・多言語を重視**
単一言語58言語に対応
-  **二言語が混ざる会議**
23言語から2言語を選択
-  **対面・訪問を記録**
mobile、Notta Memo
-  **会議と文書を横断分析**
BrainでOffice文書も扱える

CAUTION

Slack HuddleはBot・desktopに条件があり、Brainの有料枠は本体と独立する。公式MCPは確認できていない。

tl;dv・Otterを選ぶ場合

用途が営業・CSの分析か、会議中の支援かで特化製品を選び分けます。

比較軸	tl;dv	Otter
最も向く用途	営業・CS・VoCの横断分析	会議中のAI支援
分析・支援	複数会議report、Playbook、MCP	Meeting Agent、AI Chat
Botなし取得	desktopでsystem audioを録音	desktop recording
注意点	検索会議数などplan差を確認	対応は6言語、多言語用途は要比較

比較の根拠

1. 選び方の結論

2. 比較の根拠

3. 導入前の確認

取得範囲を比較する

どの経路の会議を記録できるかが、製品選定の最初の比較軸です。

製品	Web会議	Botなし	対面・mobile	Huddle
Fathom	主要3製品	あり※	iOS※	あり※
Fireflies	主要4製品等	desktop	mobile	desktop
Otter	主要3製品	desktop	mobile	要確認
tl;dv	主要3製品	desktop	即席録音	desktop
Notta	主要4製品	desktop※	mobile / Memo	あり※

※ 表内の※はベータ・段階展開・plan・OS差のある条件付き対応。導入環境で利用可否を確認する
(2026年7月13日確認)

分析・再利用を比較する

記録した会議をどこまで活用できるかを、横断分析とMCP対応で比べます。

製品	横断分析の特徴	公式MCP
Fathom	横断検索、引用、customer / deal view	あり
Fireflies	AskFred、会話分析、AI Skills	あり
Otter	AI Chat、リアルタイム支援	あり
tl;dv	複数会議、営業・CS・VoC分析	あり
Notta	Brainで会議と文書を横断	公式一覧で未確認

- tl;dv MCPは検索会議数に上限があるため大規模利用は要確認
- MCPがあっても、元workspaceの閲覧権限を越えて検索はできない

MCPは選定条件の一つ

ChatGPT / ClaudeからのMCP連携で、できることとできないことを整理します。

MCPでできる

- 保存済み会議をAIから検索
- transcript・要約を取得
- 複数会議を横断分析
- 提案書・mailへ再利用

MCPだけではできない

- 会議を録音する
- Bot参加を許可させる
- 対面音声を受音する
- 元サービスの権限を代替する

- OAuthでも検索範囲・引用・取得上限・管理者許可を確認する
- 元サービス側とChatGPT / Claude側の両方に利用条件がある

MCP対応だけで決めない — 取得できない会議は検索できない

導入前の確認

1. 選び方の結論

2. 比較の根拠

3. 導入前の確認

日本語利用で確認する点

公称の対応言語数を精度順位と見なさず、実際の日本語会議で次の5点を確認します。

-  **固有名詞**
社名・製品名・人名で差が出る
-  **話者識別**
対面・重なり発話で崩れやすい
-  **最終決定**
途中の案を決定と誤認しやすい
-  **action item**
担当者と期限まで取得できるか
-  **二言語**
対応言語数と実精度は別

統制できる製品を選ぶ

導入判断の前に、情報システム部門の統制要件を3つの観点で確認します。

ID・権限と監査

- SSO / SCIM / role / OAuth scopeを既存のID基盤へ揃えられるか
- audit log・共有履歴・管理者権限で利用状況を追跡できるか

データの保持・削除

- retention / export / 退職者対応を自社の保持方針に合わせられるか
- 保存地域・学習利用の有無・暗号化の仕様を確認できるか

記録への同意

- Bot参加・Botなし録音・対面録音それぞれの通知方法があるか
- **共有accountを禁止**し、利用者単位・最小権限で運用できるか

価格は総費用で見る

見積もりでは、次の5点を掛け合わせた実質費用で比較します。

-  **課金単位**
seat / minutes / AI credits
-  **契約期間**
月払い / 年払い / 最低seat
- **+** **追加費用**
翻訳 / Brain / API / storage
-  **利用者区分**
member / admin / viewer / guest
-  **実質費用**
対象人数 × 必要plan + 管理工数

※ 料金は2026年7月13日に再確認。税・通貨・年払い条件が異なるため、表示価格の単純順位は付けない。

価格の一次情報 — Firefliesの例

Free	Pro	Business	Enterprise
For individuals starting out	For professional individuals and small teams	For fast growing businesses	For large scale enterprises
\$0	\$10	\$19	\$39 ANNUAL ONLY
Free forever	per seat / month, billed annually	per seat / month, billed annually	per seat / month, billed annually
Get Started	Get Started	Get Started	Contact Us

契約前に公式Pricingページで**最新の価格・課金条件**を必ず確認する。

※ 出典: Fireflies Pricing (fireflies.ai/pricing、2026年7月14日取得)。年払い時のper seat価格

まとめ

1. 一つの会議基盤で完結するなら、**標準AI**を選ぶ
2. 顧客主催・対面・fileが混在するなら、**Fireflies**を第一候補にする
3. 日本語・二言語・対面を重視するなら、**Notta**を選ぶ
4. 会議横断検索・引用・MCPを重視するなら、**Fathom**を選ぶ
5. 営業分析は**tl;dv**、会議中の支援は**Otter**を選ぶ

混在環境はFireflies — 用途が明確なら特化製品

主要出典 — 標準AI

標準AI各製品の機能・提供条件は、次の公式資料で確認しました。

- [Microsoft — Recap in Microsoft Teams](#)
- [Google — Take notes for me in Google Meet](#)
- [Zoom — AI Companion in third-party meetings](#)
- [Slack — AI huddle notes](#)

※ 機能・料金・ベータ表記は2026年7月13日に公式資料で確認。契約前にtenant、地域、OS、planの最新条件を再確認する。

主要出典 — 独立系AI

独立系各製品の機能・料金は、次の公式資料で確認しました。

- Fathom: [Overview](#) / [MCP](#) / [Pricing](#)
- Fireflies: [Overview](#) / [MCP](#) / [Billing](#)
- Otter: [Languages](#) / [MCP](#) / [Pricing](#)
- tl;dv: [Bot-free](#) / [MCP](#) / [Uploads](#)
- Notta: [Languages](#) / [Brain](#) / [Pricing](#)

※ 各社の公表機能を整理したもので、精度順位ではない。精度と運用適合性は実会議で確認する。

ありがとうございました

ご質問は、以下のいずれかからお気軽にお寄せください。

公式ホームページのお問い合わせ

www.zenshin-inc.co.jp/contact

ZENSHIN CTO 高橋 俊へのご質問

X @suguru_takaha4 DMまたはリプライ

ZENSHINホームページ

www.zenshin-inc.co.jp

